

学校関係者評価報告書

愛媛県立今治特別支援学校

評価実施日		令和4年3月10日(金) ※書面開催にて実施	
委員	氏名	所属等	備考
	越智 清仁	学校評議員、(福)来島会相談役	
	浅海 廣司	学校評議員、明德短期大学・愛媛学園講師	
	世良 徹也	学校評議員、今治市桜井公民館長	
	地行千恵美	学校評議員	
	橋田 英俊	学校評議員、正光会今治病院精神科医師、本校学校医	
	藤田 理子	PTA会長	
	柚山 敦子	PTA副会長	
	山田 洋史	PTA副会長	
	池内 厚子	PTA副会長	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 学習指導について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援が必要な児童生徒に対して新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら、学習活動を継続していくことは、大変苦勞の多かったことだと思う。従来では実施できない活動については、中止するのではなく、なるべく代替方法を検討し、可能な限り実施していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も、臨時休業中の学習支援としてICT教材をホームページに掲載したり、密を避けるために2つ以上の教室をオンラインでつないで遊びの指導や音楽の授業を実施したりするなど、様々な教育活動にチャレンジした。今後も、ICT教育のスキルアップと併せて、withコロナの教育活動の研究に取り組み、実践に移したい。
<p>2 生徒指導について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染防止対策をしながらの校内・外の実習や学校行事などを経験したが、「コロナだから」とあきらめたり我慢したりすることもあった。児童生徒の気持ちに寄り添って指導いただき感謝している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒、教職員の命に関わることであり、今後も感染防止対策を講じながら、より効果的な教育活動を実践していきたい。 ・学校行事は児童生徒の成長のために欠かせない教育活動である。コロナ禍において、どうすれば安全・安心な学校行事ができるかをこれからも各部署で検討し、工夫しながら実施したい。 ・新型コロナウイルス感染症に関連して欠席した児童生徒については、今後も家庭と連携して心のケアに努めたい。
<p>3 進路指導について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ過での学校生活も3年目に入り、様々な試行錯誤が重ねられていることと思う。しかし、学年は1年たつと進級、及び進学、卒業となるので、その後の進路等に向けてできる限りの指導・支援をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後とも、技能検定練習のための動画制作や密を避けた実技指導など、感染リスクを回避しながらも効果的な進路指導・支援を企画し実行することで、教員の指導力と生徒の技能の向上につなげたい。
<p>4 学校評価全般について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会資料の中で「自立」というキーワードが心に残った。そのため「生きる力」を育てることを毎日学校でも色々な体験をさせていただいていると感じた。 ・新型コロナウイルス流行の影響もあり、行事や参観日の縮小で学校に足を運ぶ機会が減ったが、ホームページやマチコミのメール等を活用することで児童生徒の様子についてもよく知らせてもらい安心できた。コロナ禍の中で感染予防に努めていただき、安全に、安心して通学できていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度もコロナ禍は継続するという前提で、児童生徒の安全を重視した教育活動を計画をしたと考えている。今年度の反省を踏まえ、学校行事についてはさらに運営の工夫や適切な代替措置などを講じることで、現状に合った教育活動の策定を目指したい。
<p>5 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寄宿舎は、舎生にとっては家庭である。寝食を共にする集団生活において、児童生徒が新型コロナウイルスに感染することのないように今後も感染防止対策を徹底していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度より、空き部屋や談話室等を利用して一部屋当たりの利用人数を減らしたり、寄宿舎での集団活動を制限しているが、今年度は入浴時における浴室利用についても、密を避ける工夫をすることでさらに感染防止を徹底した。舎生のストレス解消策も講じた上で、活動についてはさらに工夫を重ねていきたい。